

ケベック州が産みだす 100%ピュア・カナダ産メープルシロップの恩恵
～メープル樹林は、東京の全乗用車が排出する炭素の10%相当を、自然に戻しています～

カナダのメープルシロップ産業を代表するケベック・メープル製品生産者協会と、調査会社 AGECO グループとの最近の調査「ケベック州のシュガーブッシュに関わる生態系の財と公益的機能の評価」において、現在メープル製品の生産に利用されているケベック州のメープル樹林が、生態系保全の原動力となっていることが明らかになりました。この調査によると、私たちがほんの少しのケベック産メープルシロップをパンケーキやコーヒーに使うだけで、地球の生態系の財と公益的機能の保護に貢献できるということです。このちょっとした行動は、朝食を食べている間にできてしまいます。通常、ケベック州法で保護されているメープル製品の生産に利用されているメープル樹林は、「人間の福利に必要不可欠であり、ほとんどの場合、人工的なもので代用できない¹⁾」とされ、10億カナダドル（日本円で約850億円）もの貨幣価値をもたらしています。

この調査では国際的に認められた手法に従い、メープルシロップを生産する樹林のもたらす恩恵を大まかに3つのカテゴリーに分けています。

- ・**調整機能**：地元地域や全地球規模の両面において、人々の暮らしやすい状況を維持する生態系に作用する物質的機能です。主な例としては土壌による水のろ過機能、浸食や気候変動対策が挙げられます。

現在メープルシロップを生産中のメープル樹林は、毎年 962,200メトリックトンの炭素を貯蔵しています。これは年間で東京の全乗用車の約10%²⁾に当たる290,000台分の排出炭素を相殺できる規模です。それに比べ、メープルシロップの生産、包装、流通の過程で放出される炭素量は年間109,387メトリックトンです。

- ・**供給機能**：メープルの樹林が個人にもたらす直接の作用や物質的なものです。この分野には食物（メープル製品、キノコ類、ベリー類、その他の食用植物）、医薬品（朝鮮人参など）、観賞用産物（花や木材など）が含まれます。
- ・**文化的機能**：非物質的な恩恵です。美的恩恵、教育・伝統・文化全般に関する価値に加え、娯楽（エコシステム関連のレジャーや観光）も重要な例です。



このリリースに関するお問い合わせ先：

株式会社つきプランニング 担当：外川・川端
togawa@tsuki-p.com / kawabata@tsuki-p.com

〒104-0041 東京都中央区新富 2-12-6-3F Tel: 03-6222-7115 / Fax: 03-6222-7116

¹ Le capital écologique du Grand Montréal : une évaluation économique de la biodiversité et des écosystèmes de la Ceinture verte, report prepared by Groupe AGÉCO for the David Suzuki Foundation and Nature-Action Québec, February 2013, page 5.

² 「東京の乗用車保有台数」一般財団法人自動車検査情報登録協会より <https://www.airia.or.jp/publish/statistics/number.html>

その素晴らしい味、栄養価、そして甘味料としての可能性のために、多くの人がメープルを選んでいます。米国、カナダケベック州、日本及び英国だけで 6,620 万世帯がケベック産メープルシロップを消費しています。ケベック産メープルシロップは環境に優しい自然な食品を求める意識の高い消費者のニーズに合致しています。食べれば食べるほど恩恵も大きくなります。メープルシロップ生産に使われるメープルの樹林は、通常ケベック州法の規定により保護され、伐採されることはありません。

ケベック州には少なくとも 5,300 万本の未だ樹液が採取されていないメープル樹林があります。現在メープル樹林全体の経済的価値は 27 億カナダドル（日本円で約 2,300 億円）です。これで年間、東京の全乗用車の約 1/4 に当たる 770,000 台分の排出炭素を相殺できます。しかしながらこの価値は永続が保証されている訳ではありません。5,300 万本の未採取の樹林は、通常生産に利用されるまでは保護されず伐採される可能性は常にあります。そうなれば、樹林がもたらす生態的恩恵を現世代と将来の世代から奪うこととなります。

「毎日一家に一人の割合で、普段つかっている甘味料の代わりにメープルシロップかメープルシュガーを小さじ 1 杯使うと、新しくメープルの木 2 本が生産に利用され、保護されることとなります」とケベック・メープル製品生産者協会のプロモーション・イノベーション・マーケットディベロップメント・ディレクター、ジュヌピエーブ・ベラン氏は言います。「多くの方がメープルに切り替えてくだされば、森の多くのエリアが守られることとなり、森はさらに多くの恩恵を提供し将来の世代が利用できる 1 つの誇り高さ遺産を保存することができるのです」

ケベック・メープル製品生産者協会の会長セルジュ・ボーリュ氏は、「いま樹液が採取されているシュガープッシュが、ケベックの農地や農業活動の保護に関する法律によって守られ、まだ採取されていないメープル樹林がもたらす経済効果も考えれば、政府によるシュガープッシュの保護はもっともなことです。皆さんがケベックのメープル製品を買えば買うほど、ケベックのメープル樹林の保護や生態系の公益的機能に貢献し、そこから恩恵を受けることができるのです」と述べています。

「生態系の財と公益的機能の評価は、世界中でますます採用されている革新的で新しいアプローチです。私たちが使用したメソッドは、国際的学者コミュニティに認められています。当たり前だと取られがちな価値、自然そのものの機能に、貨幣価値を当てはめて考えます。それをケベックにおいてメープル製品分野に取り入れたケベック・メープル製品生産者協会は、その利用法の先駆者です」と、AGECO グループの共同経営者であり共同研究者のジーン・ピエール・レベレット氏は述べています。

AGECO グループについて

本研究は、食糧部門に特化した、企業の責任と経済研究を専門とするコンサルタント会社、AGECO グループによるものです。

生態系の財と公益的機能の評価について

この研究で提示された生態系の公益的機能の証明、生態系の財と公益的機能の価値は、ミレニアム生態系評価（MEA）の革新的アプローチを基本にしています。ミレニアム生態系評価は、2001 年に国際連合によって、50 カ国 1,350 人以上の専門家の参加により始まりました（<http://www.millenniumassessment.org/>）。さらに 2007 年、G8 の環境大臣ら、生態系と生物多様性の経済学（TEBB）（<http://www.teebweb.org/>）による国際的なイニシアチブにおける取り組みにより強化されました。それからは、天然資産のより詳細な管理のための政策決定時に、生態系の公益的機能の価値をはかるため、市政機関、政府、NGO、企業といった団体から多く利用されています。

カナダ産のメープルシロップは、大地の恵みをたっぷり吸い上げたカエデの樹液を煮つめただけの 100%天然の食品です。種々のビタミン、ミネラルのほか、63 種類のポリフェノールなど有益な成分をたくさん含んでいます。メープルシロップは、デザートはもちろん、肉、魚、野菜、飲み物、ソースの調味料としても大活躍します。砂糖やはちみつ代わりに使うと、まるでややかな風味と深いコクが加わります。

ケベック・メープル製品生産者協会 概要 Federation of Quebec Maple Syrup Producers (FPAQ)

ケベック・メープル製品生産者協会（FPAQ）は、1966年に設立された約7,300のメープル製品生産企業を代表する団体です。会員企業の経済的、社会的、精神的利益の保護と促進をミッションとし、各会員は共同でメープル製品全体の品質維持、知識の向上、そして国内外での市場活動を行っています。ケベック州は、世界のメープルシロップ生産量の約71%、カナダ産メープルシロップの90%を生産しています。ケベック・メープル製品生産者協会は、カナダ産メープルシロップ産業全体を代表して、科学研究活動など国際的なイノベーションネットワークをリードしていることを誇りとしています。カナダ産メープル製品の10%はオンタリオ州、ニューブランズウィック州、ノバスコシア州で生産されています。

ケベック・メープル製品生産者協会は、砂糖の消費増加をお勧めしません。他の砂糖類に比べより健康に良い成分を含む天然のメープルシロップ適量を、甘味料としてお選びください。

日本公式ホームページ： <http://www.pure-maple.com>（日本語）

日本公式 Facebook： <https://www.facebook.com/puremaple>（日本語）

カナダ公式ホームページ： <http://www.siropperable.ca>（仏語・英語）/<http://www.ilovemaple.ca>（消費者向け、仏語・英語）